

声をカタチに！

なかみち通信

第33号

<http://www.komei.or.jp/km/edogawa-nakamichi-takashi/>



区民生活を断固守れ！27年度予算要望書提出！



多田区長に要望書を提出する区議会公明党のメンバー

区民サービスの向上を図れ！

去る11月27日、区議会公明党は、平成27年度予算に対する要望書を多田正見江戸川区長に提出しました。この要望書では、特に本区の看板施策とも言える①私立幼稚園の保護者負担軽減補助の堅持(月26,000円、入園時80,000円)②住宅の耐震化率100%の達成③口腔がん検診の早期導入④難病対策の支援拡充など、7分野138項目の要望が盛り込まれています。多田区長は「これらの要望に対し、十分検討させていただきます」と答弁しました。

重点要望

- ①私立幼稚園等保護者負担軽減補助及び乳児養育手当の堅持!
- ②災害に強い街を目指し、住宅の耐震化率100%の早期実現!
- ③口腔がん無料検診の早期導入とがん検診の更なる受診率向上を!
- ④難病対策(手当など)の支援拡充を!
- ⑤特別養護老人ホームや老人保健施設の増設を!
- ⑥区内小中学校の適正配置を進め、より良い教育環境の整備を!
- ⑦若者・女性の活躍、健康を支援する取り組みの促進を!

声をカタチに！

「受次て国のつかさ(藩主)の身となれば忘るまじきは民の父母」。

江戸時代、米沢藩の行財政改革に心血を注ぎ、見事に成功に導いた上杉鷹山。この歌は彼が17歳で藩主に就任した日に詠んだ歌です。

「藩主は、民の父母でなければならぬ。」との師の教えを真つ直ぐに受け止め、声を聴く鷹山。その誓いのままに生涯を走り抜けた生き様には、強い感動と共感を覚えます。

私は、一昨年五月から区監査委員を拝命。区民生活向上の為、多くの声に耳をそばだててまいりました。

これからも「小さな声を聴く力」を磨き、そして「声をカタチにする」ため、全力で働いてまいります。お気軽にご相談下さい。

江戸川区議会議員
中道 貴